

松江市原子力発電所環境安全 対策協議会からのお知らせ

No.14

平成23年 4 月 1 日

発行：松江市総務部防災安全課原子力安全対策室
電話：55-5616 FAX：55-5617

本市では、原子力発電の安全対策の推進と市民の皆さまから原子力に関するご意見を伺い、市の原子力行政に反映させることを目的に、松江市原子力発電所環境安全対策協議会を設置しています。

今回は、2月に開催した協議会についてお知らせします。



(松浦市長による開催あいさつ)

平成22年度 第5回協議会(2月24日開催)

●議題1 「島根原子力発電所の保守管理の不備等について」

①中国電力(株)小原島根原子力本部副本部長から、点検不備の再発防止対策の実施状況、島根1号機の点検時期を超過した機器と原子炉再循環系配管のひびについて説明がありました。

島根1号機の点検時期を超過した349機器すべての点検を完了し、異常のないことを確認したこと、1号機で発見したひびについては長さ、深さを測定し、健全性評価(ひびの進展予測と構造強度の評価)を行い、必要な処置を実施していくと説明がありました。

②原子力安全・保安院 山本原子力発電検査課長から特別な保安検査の結果について、説明がありました。

保安院は、島根原子力発電所における保守管理の不備に対する再発防止対策が定着し、点検時期を超過していた機器の点検評価も適切に実施され、健全性に問題のないことを確認していることから、1号機の運転再開について、安全上の問題はないと判断したと説明がありました。

また、今後も再発防止対策の定着状況や原子炉起動時の安全確認などについて確認することや、1号機で見つかったひびについても厳格に確認を行うと説明がありました。

③松江市から、島根県と合同で行った立入調査(第5、6回)の概要について報告を行いました。

1号機の点検時期を超過した機器については、工事实績報告書などによる書類確認と抜き取りによる現場確認を行い、349機器すべてについて点検が完了していることを確認したと報告しました。

また、再発防止対策の実施状況についても、社長のトップマネジメントのもと、関連会社も含め、全社を挙げて再発防止対策を着実に実施しており、対策が着実に定着していると考えていると報告しました。

【点検時期を超過した機器(全511機器)】

島根1号機	全349機器点検完了済
島根2号機	全162機器点検完了済
合 計	全511機器点検完了済

～協議会での主な質疑内容～

(委員)

ひびの測定に用いられている超音波を用いた計測方法は、計測する検査員の判断によって左右されることになると思うが、信頼性があるのか。

(保安院)

ひびの計測には一定の技能や技術力がないと正確に計測することができない。そのため研修制度や技能資格を審査する制度の中で、技術力を一定以上に保ち、検査の正確性を確保するための仕組みができています。



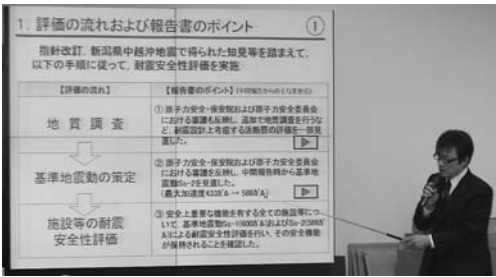
原子力安全・保安院 山本原子力発電検査課長

●議題2 島根原子力発電所3号機耐震安全性評価結果について

中国電力(株) 電源事業本部 田中専任部長から、1月21日に国に提出した島根3号機耐震安全性評価の最終報告書について説明がありました。

中間報告時の基準地震動や海域の活断層の評価などを、国の審議結果を反映したのに見直し、安全上重要な機能を有するすべての施設などについて耐震安全性評価を行った結果、安全機能が保たれることを確認したと説明がありました。

この最終報告書については、今後、国において審議されます。



中国電力(株)電源事業本部 田中専任部長

～協議会での主な質疑内容～

- (委員) 島根原子力発電所敷地の前面海域の断層調査は、終了しているのか。また、島根1、2号機の耐震安全性評価の最終報告書の提出はいつごろか。
- (中国電力) 調査結果は出ており、今回の報告書に反映している。島根1、2号機の最終報告書については、現在作業中であり、できるだけ早く提出したい。

●議題3 その他(島根原子力発電所3号機 建設工程の変更について)

中国電力(株) 小原島根原子力本部副本部長から22年11月から発生した制御棒駆動機構[※]の動作不良に対応するため、建設工程を変更すると説明がありました。

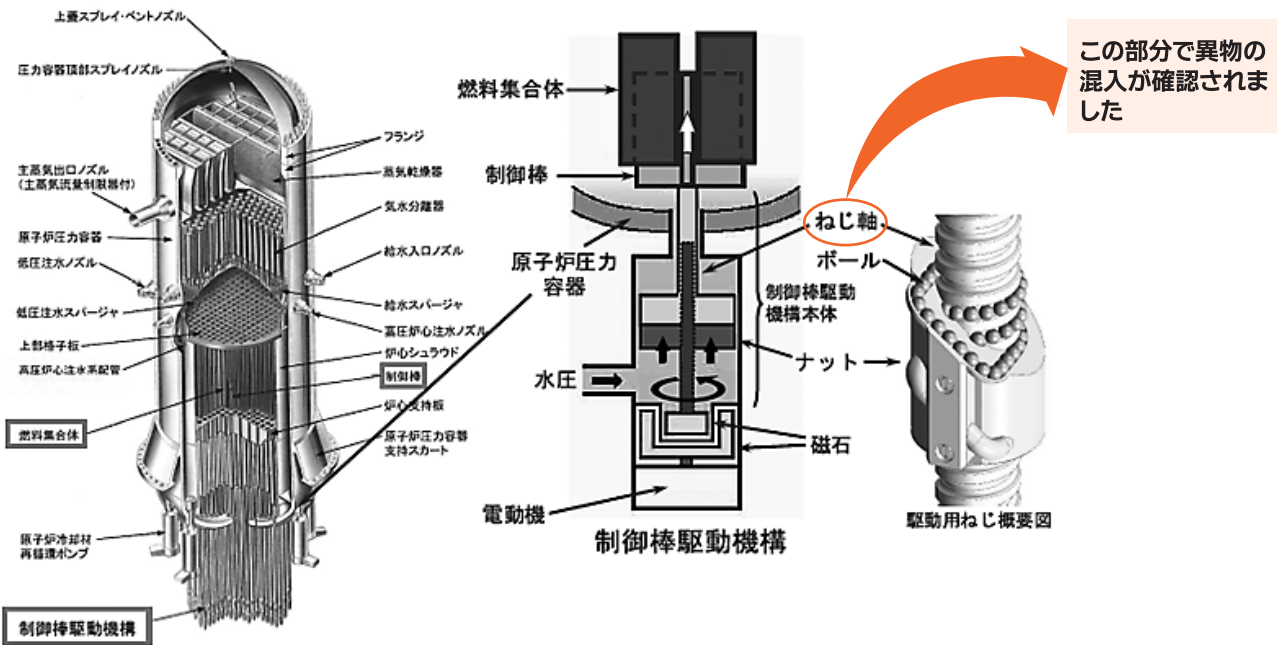
※原子炉の出力を調整するための制御棒を炉心に出し入れするための装置
動作不良の原因として駆動用ねじ部分に異物が混入したことが推定されることから、今後の対応として、制御棒駆動機構を全数取り外して、製作メーカーの工場での分解点検を通じて原因分析を行うこと、今後は異物が混入することを防止するために流している水の流量管理を徹底すると説明がありました。

【建設工程の変更】

	変更前	変更後
燃料装荷	23年3月	23年6月
営業運転開始	23年12月	24年3月

～協議会での主な質疑内容～

- (委員) 23年12月の営業運転開始に向けて、このような事態が起こったことは問題。12月の運転開始が果たせなかったということは今後の大きな反省となる。市の財政にも影響があると思うがどうか。
- (松浦市長) 原子力発電所は安全第一。安全を度外視して「スケジュール通りやれ」という考えはない。固定資産税を徴収する時期が多少遅れても、税の総額が変わるわけではない。



「22年度広報・安全等対策交付金」で作成しました。